



# 【 救 急 】の紹介

## 基本情報

研修期間 8週（必修科目）

研修目標 ①重症患者に対する初期治療とトリアージ及び心肺蘇生法の知識と技術を習得する。  
②家庭内外で頻繁に発生する内因性及び外因性救急疾患を経験し、初期治療に必要な知識と技術を習得する。

### A. 救急医療で経験すべき病態・疾患

#### 1. 緊急を要する病態・疾患（17項目）

心肺停止	ショック	意識障害	脳血管障害	急性呼吸不全
急性心不全	急性冠症候群	急性腹症	急性消化管出血	急性腎不全
急性感染症	外傷	急性中毒	誤飲	誤嚥
熱傷	精神科領域の救急			

#### 2. 経験すべき内因性疾患（19項目）

脳内出血	くも膜下出血	脳梗塞	てんかん発作	脳髄膜炎
うっ血性心不全	虚血性心疾患	不整脈	気管支喘息発作	重症肺炎
COPD 急性増悪	急性上気道炎	消化管穿孔	消化管出血	汎発性腹膜炎
イレウス	生殖器系急性腹症	糖尿病性昏睡	精神科救急疾患	

#### 3. 経験すべき外因性疾患（23項目）

脳・脊髄外傷	顔面・頸部外傷	消化管破裂・腸管膜損傷	脾損傷	腹部穿痛創
肝・胆道損傷	脾・十二指腸損傷	骨折	関節の脱臼	捻挫
韧带損傷	脊柱障害	四肢切断	その他四肢外傷	骨盤外傷
腎損傷	湿疹・皮膚炎	蕁麻疹	薬疹	皮膚感染症
多発外傷	熱傷	急性中毒		

### B. 救急医療で習得すべき基本手技・検査

#### 1. 緊急を要する病態・疾患（26項目）

気道確保	人工呼吸	体外心マッサージ	圧迫止血法	包帯法
注射法（皮内・皮下・筋肉・点滴・静脈確保）	採血法（静脈血・動脈血）	穿刺法（腰椎・胸腔・腹腔・膀胱）	導尿法	局所麻酔法
創部消毒とガーゼ交換	切開・排膿	皮膚縫合	軽度の外傷・熱傷の処置	気管内挿管
電気的除細動	十二誘導心電図	心電図モニター	胃管挿入	胃洗浄
胸腔ドレナージ	腹腔洗浄	動脈血ガス分析	緊急血液検査（血算・生化学）	
簡易血糖検査	緊急画像診断（放射線・超音波）			

カリキュラム

- ・救急診療は、各診療科の全医師が分担・協力し対応する体制をとっている。
- ・救急8週は外科系をローテートしながら、外科系救急に対応する。
- ・それ以外は各診療科ローテートにて救急出番・当直業務（副直）に従事する。
- ・指導医とのマンツーマン体制で、救急患者のファーストタッチを担当し、上記の病態・疾患を経験する。

縫合練習



ACLS 講習

